

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	鎌倉国宝館副館長	内藤 浩之
文財-07 国宝館管理運営事業		☒ 自治事務	主管課	鎌倉国宝館
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えらるゝとにも、調査・研究、展示をととして市民等の利用に供するため。
効果	現在国宝7件45点、重文92件889点をはじめ、館蔵品・寄託品併せて1,000件、4,800点を超える収蔵品を保管し、文化財の保全と活用を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

前年度末に空調機器の大規模修繕工事を行ったことから、3ヶ月の試運転期間を経て7月に再開館した。秋季特別展「鎌倉ゆかりの天神さま」をはじめ5回の特別展と、1回の平常展を開催した。収蔵資料を題材とした連続講座「国宝館資料のあれこれ—中級編—」(全5回)や、深沢ならびに腰越生涯学習センターでの出張講座を実施したほか、市内外の小中高等学校の学校行事による利用について、特別解説等を実施して学校教育との連携を図った。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人 口	177,243人	人 口	177,464人	
運営資源状況	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		
	当初予算(千円)	59,106	決算値(千円)	51,813	
	国県支出金	0	国県支出金	0	
事業経費運営	地方債	0	地方債	0	
	その他	22,935	その他	11,863	
	一般財源	36,171	一般財源	39,950	
	人員配置数	4.0	人員配置数	4.0	
	人件費(千円)	30,724	人件費(千円)	29,940	
	総事業費(千円)	89,830	総事業費(千円)	81,753	
	市民1人当りの経費(円)	507	市民1人当りの経費(円)	461	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	収蔵品の充実を目指し、それを基に魅力ある展示を企画して、来館者の増加を図る。施設の老朽化への対策、及び免震設備未設置部分への効果的な対策を検討する。公開講座を実施するほか、学校教育の場としての利用の促進を図るなど、普及啓発事業に力を入れる。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	寄託品が新たに4件増えるなど収蔵品が充実した。年間の来館者数については、空調機器大規模修繕工事後の試運転のため7月まで休館したことの影響により、前年度と比較し7,888人の減少となった。連続講座や出張講座といった一般向けの公開講座を実施したほか、市内外の小中高等学校の学校行事による利用について、特別解説等を実施して学校教育との連携を図った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題 新たな課題	収蔵品の充実を図り、魅力ある展示を企画し入館者の増加を図る。昇降機更新や免震設備対策の検討を継続する。学校教育の場としての利用促進を図る。	

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	今後とも市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後とも市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉国宝館友の会、(公財)氏家浮世絵コレクション

事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直し 昇降機更新や免震設備導入等の施設改修を行う。
			事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	昇降機更新や免震設備の導入といった、設備の改善を図る必要があるため。
総評	今後も引き続き鎌倉の歴史や文化に関する情報や学習機会を提供していくため、収蔵品の充実を図り、展示や講座の実施、学校教育との連携など博物館活動の充実に努めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項		平成25年度入館者数(人)							
団体名	鎌倉市	神奈川県	神奈川県	横浜市	川崎市				
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴博物館	川崎市市民ミュージアム				
	38,763	127,895	47,978	283,717	191,714				
比較事項		平成25年度観覧料収入(千円)							
団体名	鎌倉市	神奈川県	神奈川県	横浜市	川崎市				
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴博物館	川崎市市民ミュージアム				
	15,583	13,448	6,860	6,640	(回答なし)				
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		周辺の公立博物館との比較からは、入館者数ではやや見劣りがするものの(平成25年度については国宝館では大規模空調修繕工事を実施したため、開館期間が約4ヶ月短縮)、観覧料収入では他館を上回っており、人口および組織の規模を考慮すると、かなり健闘しているものと評価される。今後も引き続き魅力ある展示を実施することにより、入館者および観覧料収入の増加に努めていきたい。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		入館者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		平成26年度は開館期間約8ヶ月
当該事業へのニーズや反響を把握するため。	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000		70,000		
	実績値	30,875									
	達成率	44.1%									
指標の内容		観覧料収入					単位	千円	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		平成26年度は開館期間約8ヶ月
当該事業を実施することにより、もたらされた収入額を明らかにする。	目標値	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500		21,500		
	実績値	10,369									
	達成率	48.2%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方		平成26年度は大規模空調修繕工事を実施したことから開館期間が約8ヶ月にとどまった影響もあり、目標値を大きく下回った。今後も収蔵品の充実を図り、魅力ある展示を企画し入館者の増加を図ることにより、観覧料収入の増加に努めていきたい。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---